

行財政改革に向けた取組

1 改革の視点

(1) 本計画では、次の3点を改革のスローガンとして計画を推進します。

「大きなサービス、小さな経費」

「予算は余算、余らせて資産を残す」

「市役所が変われば、市が変わる」

(2) 改革の目標

本計画では、次の2点を目標とします。

財政の健全化

行財政改革取組目標額：

平成17年度から21年度の5カ年の累計 63億円

実質収支黒字の維持

経常収支比率95%以下

公債費比率11%以下

分権型社会に対応した持続的・自立的な行財政運営の基盤づくり

財政が健全化した後に、新たな施策を展開していく財源（体力）を確保するとともに、分権型社会に対応した持続的・自立的な行財政運営を展開する基盤づくりを、財政健全化の取り組みと併行して行います。

2 実施期間

「新行財政計画（素案）」の実施期間は、財政健全化を最重要課題とするため、平成17年度から平成21年度の5カ年とします。